

平成 25 年度 第 2 回 計測技術等調査研究委員会 議事録

日時	2014-5-15 15:00~17:00	作成	伊藤	前回	2014-3-13
場所	仏教伝道センタービル 3階『徳』の間				
出席者	出席：小西委員長、松原副委員長、村田委員、橋本委員、寺田委員、 庄司委員、小西委員、霜村委員、岡田委員、田中委員、 欠席：中元委員 (順不同、敬称略)				
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回技術講習会について 2. 測定機器の変遷について 3. 海外における計測技術等の情報について 4. 顕微鏡の変遷について 5. 雑誌『労働科学』等における文献調査について 6. JIS の K-3850 を作成した当時の文献について 7. その他 				

議 事 内 容

小西委員長より前回議事録について各委員に配布済みであることが確認され、追加・修正がある場合には事務局に連絡してもらうこととし、その後、議事に入った。

1. 第1回技術講習会について

小西委員長より資料「建築物等の石綿除去作業時の環境管理に係る実技講習会のご案内」に基づいて説明があり、委員の方に関しては見学することも可能なので、その場合には事務局まで連絡することが確認された。

2. 測定機器の変遷について

霜村委員より提出いただいた資料に基づいて説明があった。

(1) 石綿関連製品年表

関連する柴田科学社の製品・商品を分類し販売時期、価格、画像（一部）をまとめたもの

(2) 石綿粉じん測定関連

石綿粉じん測定関連機器をまとめたカタログ（1989年）

(次ページへ)

(3) 労研サンプラー

労研サンプラーのカタログ (1976 年)

(4) FAM-1 (ファイバーエアロゾルモニター)

FAM-1 のカタログ (複数)

(5) FM-7400 (ファイバーエアロゾルモニター)

FM-7400 のカタログ (英文)

3. 海外における計測技術等の情報について

田中委員より海外の情報の入手方法について説明があった。インターネットを利用して NIOSH、OSHA、HSE 等の情報が入手できる。ただし、NIOSH と OSHA については無料でダウンロードできるが、HSE は概要のみ無料で、詳細については有料である旨の説明があった。また、アメリカの SKC 社に問い合わせたところ、上記以外に ASTM を利用していること、その場合は HSE と同様に概要のみ無料で、詳細は有料であることが紹介された。

それぞれの URL をまとめてもらい、各委員に配信してもらうこととなった。

小西委員長より、追加資料の「Air Sampling Instruments (ACGIH)」について説明があり、2001 年発行の 9th Edition を所有しているが、アメリカの展示会等で最新版について田中委員に確認して欲しいという要望が出された。また、新しいものが出た場合には、協会で購入・所有し、会員が必要な時に参考にできるシステムをとっても良いという意見が出された。

4. 顕微鏡の変遷について

橋本委員より、提出いただいた資料に基づいて説明があった。

(1) ニコンの歴代偏光顕微鏡について

(2) ニコンの歴代顕微鏡について

1996 年に光学系が有限系から無限系へと大きく変わったという追加説明があった。併せて小西委員長より、追加資料「ニコン顕微鏡関係資料」が配布された。

また、測定等に関する法と計測器、顕微鏡、保護具等を横並びにした一覧表を作成できれば、貴重な資料となることから、委員会で作成したいという意見が確認された。

(次ページへ)

5. 雑誌『労働科学』等における文献調査について

村田委員より雑誌『労働科学』について、現在は印刷媒体しかなく、検索ができない状態であることが報告された。引き続き文献調査をしてもらうこととなった。

6. JIS の K-3850 を作成した当時の文献について

小西委員長より、提出いただいた資料に基づいて説明があった。資料に関しては全て文献が揃っているのもので、それらの文献を電子ファイル化したい旨が報告された。

7. その他

(1) 松原副委員長より

JATI 協会より論文等を借りて電子ファイル化し、各委員で精査してはどうかという意見があり、借りられるように手配してもらうこととなった。

(2) 寺田委員より

「バルク材料中のアスベストの分析方法に係る国際標準化並びに国内標準化の動向」について次の説明があった。

- ① 現在、国際標準規格案である **FDIS 22262-2** は投票を実施している段階であり、早ければ9月頃に **ISO** として発行される可能性がある。
- ② 国際標準である **ISO/22262-1** は改訂が予定されており、改訂された場合は **ISO/22262-1** の翻訳版である **JIS A 1481-1** も合わせて変更する。

また、**JIS A 1481** が平成 26 年 3 月 28 日に新たに制定され、前のものは 3 月 31 日に廃止となったことに伴い、(公社) 日本作業環境測定協会で座学の 1 日講習を開催するという紹介があった。7 月 8 日に大阪で、7 月 16 日に福岡、8 月 4 日に東京で開催し、5 月下旬からの受付予定している。

(3) 小西委員長より各委員に以下の要望があった。

- ① 全委員に、セミナーの内容を考えて次回委員会の際に提出して欲しい。
- ② 寺田委員に、**JIS** 等の動向を報告して欲しい。
- ③ 松原副委員長に、繊維状物質を生産している現場(企業)としての環境管理の変遷についてまとめて欲しい。

(次ページへ)

- ④ 資料については継続して作成してもらい、それぞれまとめたものを、メーカープレゼンとは別に学術集會に演題として発表して欲しい。その際には委員会報告として発表することも可能である。

(4) 次回委員会について

第3回委員会の日程調整を行い、平成26年9月2日(火)15時から開催することとなった。場所は決まり次第連絡する。

以上

【配布資料】

1. 第1回計測技術等調査研究委員会議事録(案)
2. 建築物等の石綿除去作業時の環境管理に係る実技講習会のご案内
3. 霜村委員資料
 - (1) 石綿関連製品年表
 - (2) 石綿粉じん測定関連
 - (3) 労研サンプラー
 - (4) FAM-1 (ファイバーエアロゾルモニター)
 - (5) FM-7400 (ファイバーエアロゾルモニター)
4. 橋本委員資料
 - (1) ニコンの歴代偏光顕微鏡について
 - (2) ニコンの歴代顕微鏡について
5. 小西委員長資料
JISのK-3850を作成した当時の文献について

追加資料

- ・「Air Sampling Instruments (ACGIH)」
- ・年表
- ・ニコン顕微鏡関係資料